

放射性廃棄物処理・処分 スケジュール

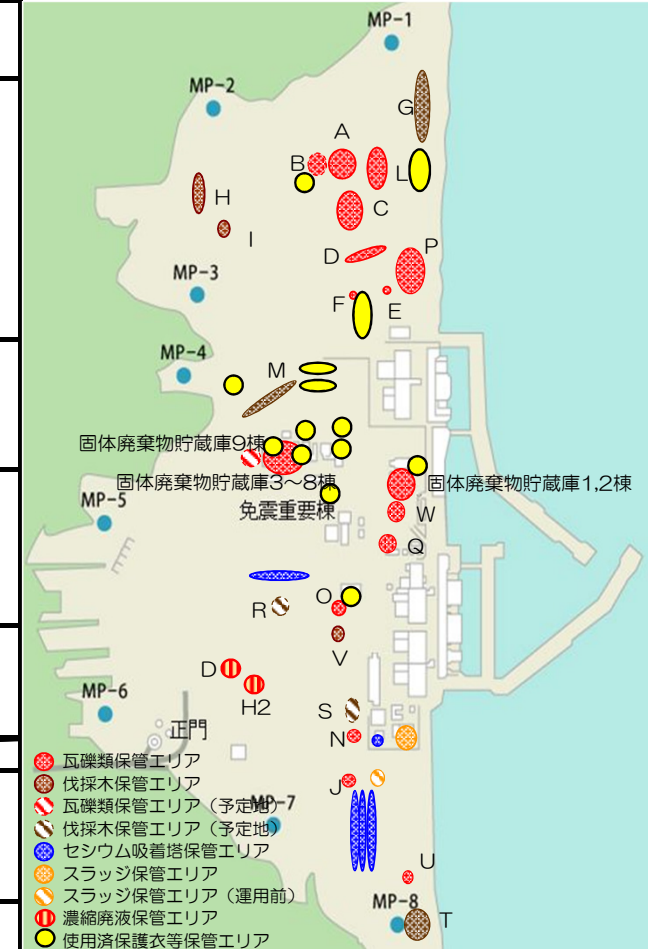
分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	6月		7月					8月			9月		10月	備考	
				26	3	10	17	24	31	7	14	下	上	中	下			前
固体廃棄物の保管管理、処理・処分計画	1. 発生量低減対策の推進	持込抑制策の検討	(実績) ・運用開始準備	検討・設計														
			(予定) ・運用開始準備	現場作業	運用開始準備													
	固体廃棄物貯蔵庫の設置		(実績) ・実施計画変更認可申請対応 ・固体廃棄物貯蔵庫第9棟にかかる建屋工事 山留工事 掘削工事 杭工事 躯体工事	検討・設計	固体廃棄物貯蔵庫第9棟にかかる建屋工事													
			(予定) ・固体廃棄物貯蔵庫第9棟にかかる建屋工事 掘削工事 躯体工事	現場作業	掘削工事													
			(予定) ・固体廃棄物貯蔵庫第9棟にかかる建屋工事 掘削工事 躯体工事	現場作業	躯体工事(基礎)													・2017年2月：竣工予定
					最新工程反映 躯体工事(地下2階)													
2. 保管適正化の推進	覆土式一時保管施設3,4槽の設置	(実績) ・設置工事(3槽) 緩衝材施工、遮水シート施工 ・設置準備工事(4槽) 4槽エリアレール一時撤去 ・設置工事(4槽) 4槽掘削 下部遮水シート設置 保護土施工 エリア整理	検討・設計	設置工事(3槽)													・2014年8月12日：安全協定に基づく事前了解	
		(予定) ・設置工事(3槽) ・設置工事(4槽) エリア整理	現場作業	設置工事(4槽)													・2015年11月13日：使用前検査(3槽)	
		(予定) ・設置工事(3槽) ・設置工事(4槽) エリア整理	現場作業	保護土施工													・4槽のガレキの受入れ時期が、来年度4月見込みとなったため一時施工中断、再開時期は2017年1月予定	
				最新工程反映 エリア整理														
一時保管エリアの追設/拡張		(実績) ・伐採木一時保管槽の追設・拡張に向けた準備 ・伐採木一時保管槽の追設(エリアG)完了 保管槽擁壁設置(追設28槽分)完了 盛土施工完了 転落防止柵設置完了	検討・設計	伐採木一時保管槽の追設・拡張に向けた準備														
		(予定) ・伐採木一時保管槽の追設・拡張に向けた準備	現場作業															

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	6月		7月					8月				9月			10月	備考			
				26	3	10	17	24	31	7	14	下	上	中	下	前	後					
保管管理計画	3. 瓦礫等の管理・発電所全体から新たに放出される放射性物質等による敷地境界線量低減	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時保管エリアの保管量確認/線量率測定および集計 ガレキ等の将来的な保管方法の検討 線量低減対策検討 ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続 伐採木一時保管槽への受入(枝葉) <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時保管エリアの保管量確認/線量率測定および集計 ガレキ等の将来的な保管方法の検討 線量低減対策検討 ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続 	<p>検討・設計</p> <p>一時保管エリアの保管量、線量率集計</p> <p>ガレキ等の将来的な保管方法の検討</p> <p>線量低減対策検討</p> <p>現場作業</p> <p>一時保管エリアの保管量確認、線量率測定</p> <p>ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続</p>																			
固体廃棄物の保管管理、処理・処分計画	4. 水処理二次廃棄物の長期保管等のための検討	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【研究開発】スラリー安定化装置の選定要件整理・適用試験(コールド) 【研究開発】セシウム吸着塔の長期保管 <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【研究開発】スラリー安定化装置の選定要件整理・適用試験(コールド) 【研究開発】セシウム吸着塔の長期保管 	<p>検討・設計</p> <p>【研究開発】スラリー安定化装置の選定要件整理・適用試験(コールド)</p> <p>現場導入に向けた運用面等の検討</p> <p>脱水物の長期保管を想定した保管容器の要件検討</p> <p>概念設計に向けた要件明確化と装置選定</p> <p>【研究開発】セシウム吸着塔の長期保管</p> <p>実規模加熱検証試験の検討(前壊熱模擬のための設備に関する設計検討)</p>																			
処理・処分計画	5. 固体廃棄物の性状把握	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【研究開発】廃ゼオライト・スラッジ・ガレキ等の性状調査 【研究開発】固体廃棄物のサンプリング・分析 【研究開発】JAEAにて試料の分析(現場: JAEA東海等) <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【研究開発】廃ゼオライト・スラッジ・ガレキ等の性状調査 【研究開発】固体廃棄物のサンプリング・分析 【研究開発】JAEAにて試料の分析(現場: JAEA東海等) 	<p>検討・設計</p> <p>【研究開発】廃ゼオライト・スラッジ・ガレキ等の性状調査</p> <p>【研究開発】固体廃棄物のサンプリング・分析</p> <p>【研究開発】JAEAにて試料の分析(現場: JAEA東海等)</p> <p>現場作業</p> <p>PCV滞留水(2、3号機滞留水)の分析(γ核種、β核種、α核種、金属元素濃度)</p> <p>スラリー(高線量試料)の分析(α核種、β核種、γ核種、金属元素濃度)</p> <p>スラッジ(1号機T/Bスラッジ試料)の分析(α核種、β核種、γ核種)</p> <p>オペフロ採取ガレキ(1号機)の分析(α核種、β核種、γ核種)</p>																			
処理・処分計画	6. JAEA分析・研究施設の整備(施設管理棟、第1棟、第2棟)	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 認可申請準備(第1棟) 敷地内除染・伐採作業 <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 認可申請準備(第1棟) 敷地内除染・伐採作業 施設管理棟建設工事 	<p>検討・設計</p> <p>認可申請準備(第1棟)</p> <p>敷地内除染・伐採作業</p> <p>現場作業</p> <p>準備工事(仮事務所設置等)</p>																			

・2017年度竣工予定

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2016.6.30 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量※1	前回報告比※2 (2016.5.31)	変動理由※3	エリア 占有率	保管量/保管容量 (割合)	トピックス
瓦礫類 屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.01	300 m ³	+300 m ³	①	9%	126700 / 181200 (70%)	<ul style="list-style-type: none"> 2016年6月使用済保護衣等の一時保管エリアの一部を、瓦礫類の一時保管エリアB(保管容量3300m³)として運用開始。 エリアCの破碎コンクリートの再利用実施。 フランジタンク解体片 エリアPにて一時保管中。(2015年6月15日~) 2016年6月末時点で230基(コンテナ)保管。 エリアPの瓦礫類について、リスク低減の観点から 容器収納へ移行中。
	C	屋外集積	0.01未満	56,400 m ³	-400 m ³	②③④⑤	89%		
	F	屋外集積	0.01未満	5,900 m ³	微増	—	79%		
	J	屋外集積	0.02	4,300 m ³	0 m ³	—	89%		
	N	屋外集積	0.01	4,500 m ³	+300 m ³	③	45%		
	O	屋外集積	0.01	26,200 m ³	0 m ³	—	95%		
	P	屋外集積	0.01	28,400 m ³	+700 m ³	⑥	44%		
瓦礫類 シート養生 (0.1~1mSv/h)	D	シート養生	0.01	2,600 m ³	0 m ³	—	88%	35700 / 57300 (62%)	
	E	シート養生	0.02	6,500 m ³	-1,100 m ³	⑦	41%		
	P	シート養生	0.01	5,600 m ³	+700 m ³	⑧	63%		
	W	シート養生	0.02	21,000 m ³	0 m ³	—	72%		
瓦礫類 覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1~30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	12,000 m ³	0 m ³	—	100%	20400 / 27700 (74%)	<ul style="list-style-type: none"> 覆土式一時保管施設(第3槽) 瓦礫類収納完了:2015年8月21日 仮覆土:2015年10月26日完了
	A	仮設保管設備	0.32	1,800 m ³	微増	—	26%		
	E	容器※4	0.02	300 m ³	微増	—	19%		
	F	容器	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	99%		
瓦礫類 固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物貯蔵庫	容器※4	0.02	7,000 m ³	+100 m ³	④⑨	58%	7000 / 12000 (58%)	<ul style="list-style-type: none"> 主な瓦礫類は、1~3号機建屋で発生した高線量瓦礫類。
	合計(カレキ)			190,000 m ³	+800 m ³	—	68%		
伐採木 屋外集積 (幹・根・枝・葉)	H	屋外集積	0.01未満	14,700 m ³	0 m ³	—	74%	67800 / 81500 (83%)	<ul style="list-style-type: none"> 工事により発生した幹・根を随時受入中。
	I	屋外集積	0.01	10,500 m ³	0 m ³	—	100%		
	M	屋外集積	0.01未満	39,300 m ³	0 m ³	—	87%		
	V	屋外集積	0.03	3,300 m ³	+2,600 m ³	⑩	55%		
	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	8,500 m ³	0 m ³	—	65%		
伐採木 一時保管槽 (枝・葉)	T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m ³	0 m ³	—	94%	19600 / 24900 (79%)	
	合計(伐採木)			87,400 m ³	+2,500 m ³	—	82%		
保護衣 屋外集積	容器	0.02	65,500 m ³	-1,000 m ³	⑪⑫	92%	65500 / 71200 (92%)	<ul style="list-style-type: none"> 2016年6月エリアB運用開始に伴い、保管容量減(-3300m³) 雑固体焼却設備の運用開始(2016年3月18日) 使用済保護衣等焼却量 693t(2016年6月末累積) 焼却灰のドラム缶数 80本(2016年6月末累積) 	
	合計(使用済保護衣等)			65,500 m ³	-1,000 m ³	—	92%		

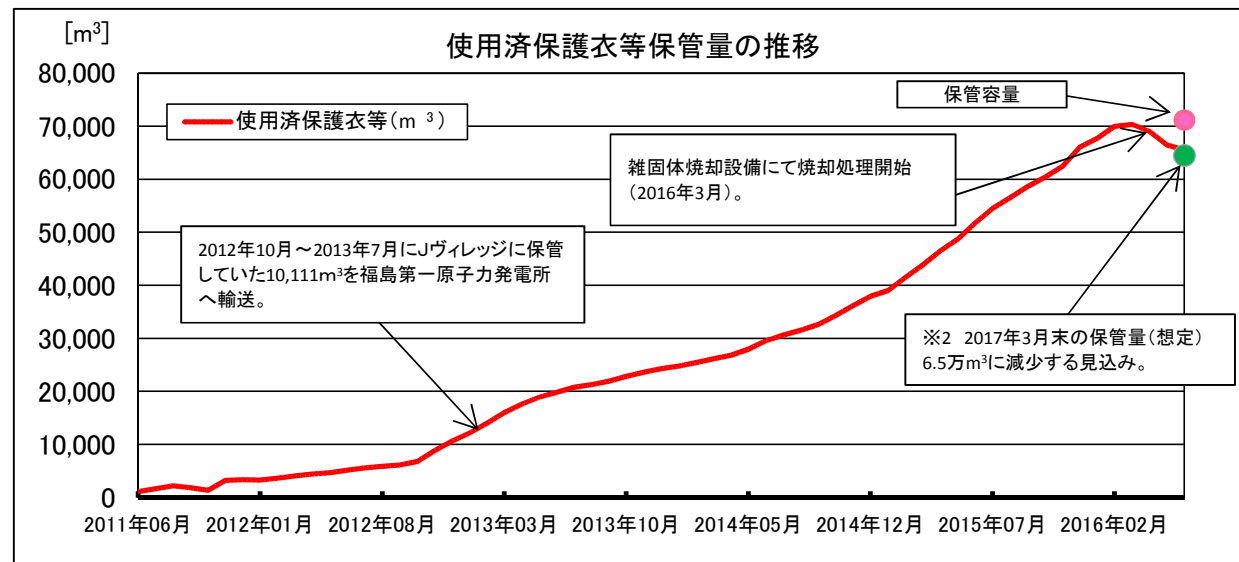
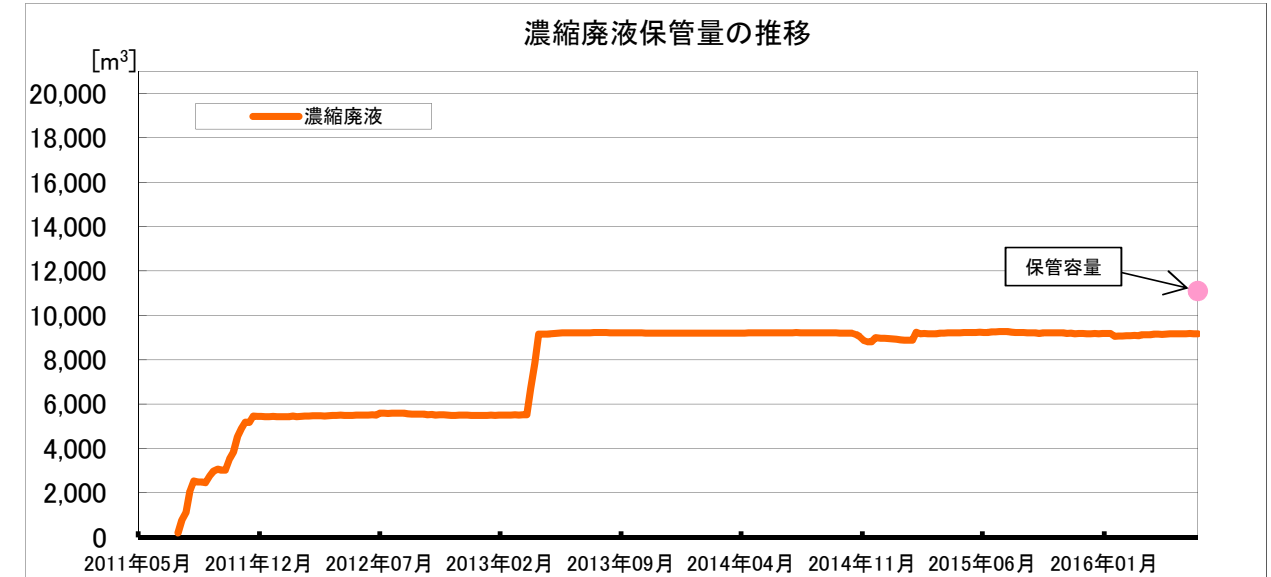
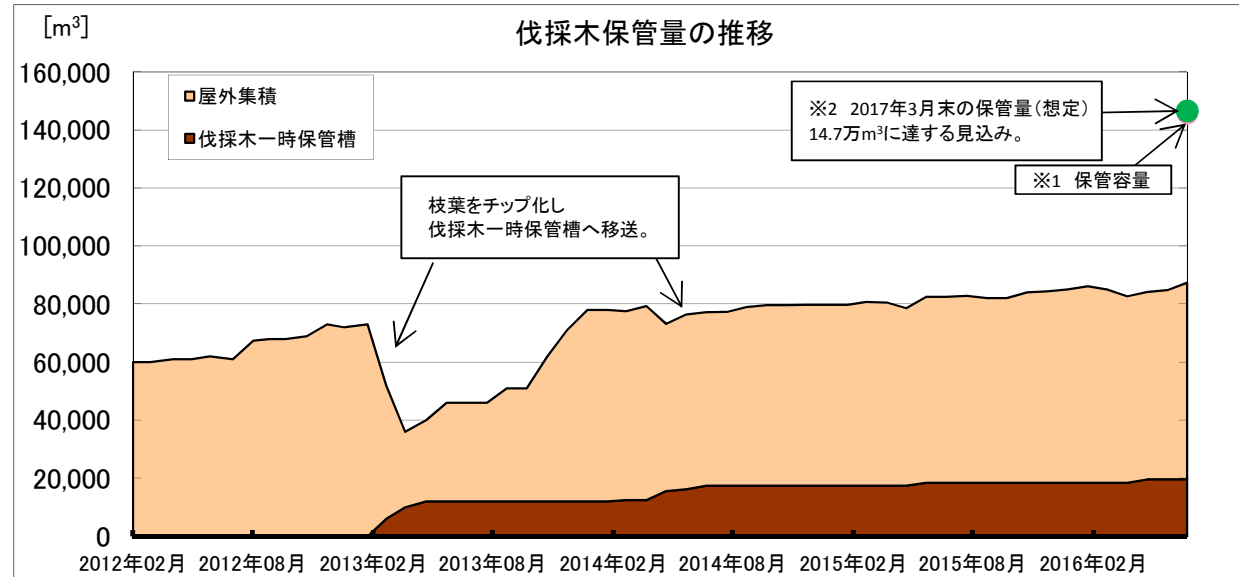
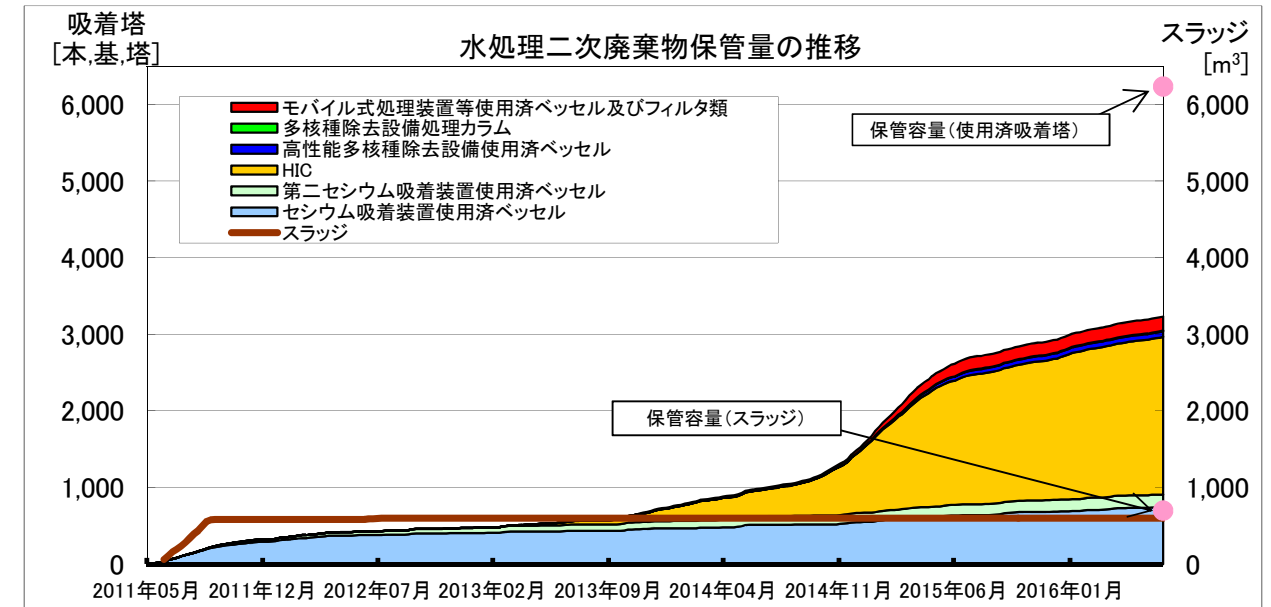
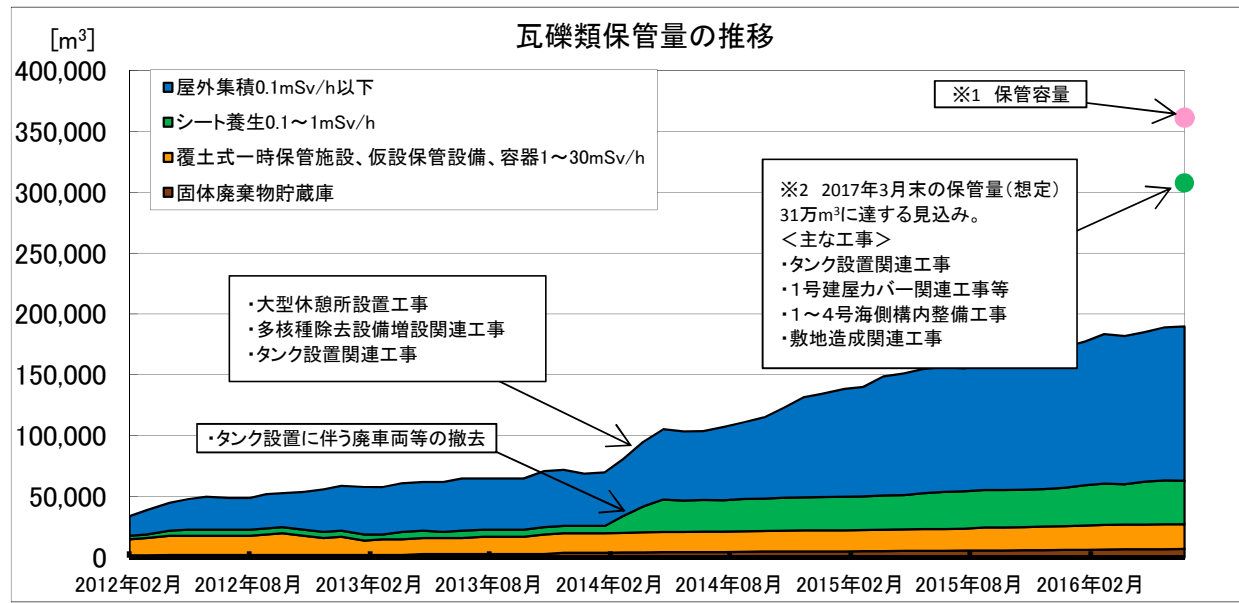


※1 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
 ※2 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。
 ※3 主な変動理由: ①焼却対象物の受入 ②フェーシング工事 ③タンク設置関連工事 ④1~4号建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ⑤破碎コンクリートの再利用 ⑥リスク低減対策による容器収納
 ⑦金属瓦礫を一時保管エリアPへ移動 ⑧金属瓦礫の受入 ⑨水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)の保管 ⑩敷地造成関連工事 ⑪焼却処理 ⑫使用済保護衣等の受入
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。

水処理二次廃棄物の管理状況(2016.7.21時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回報告比 (2016.6.23)	保管量/保管容量 (割合)	トピックス	
水処理二次 廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済バessel	738 本	+4 本	3232 / 6239 (52%)	<ul style="list-style-type: none"> 吸着塔一時保管施設の増容量が認可(2015年12月14日) 	
		第二セシウム吸着装置使用済バessel	168 本	+4 本			
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,173 基			+11 基
			増設	888 基			+19 基
		高性能多核種除去設備使用済バessel	高性能	73 本			0 本
		多核種除去設備処理カラム	既設	9 塔			0 塔
モバイル式処理装置等使用済バessel及びフィルタ類		183 本	+2 本				
水処理二次 廃棄物	廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ	597 m ³	0 m ³	597 / 700 (85%)	<ul style="list-style-type: none"> 除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。 	
		濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,178 m ³	-5 m ³	9178 / 11100 (83%)	<ul style="list-style-type: none"> タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし) H2エリア(9,700m³)の撤去計画が認可。(2015年10月1日) これまで、8,900m³を供用廃止。 保管量に「タンク底部~水位計0%の水量(DS)」を含んでいない。(約100m³)

瓦礫類・伐採木・水処理二次廃棄物・濃縮廃液・使用済保護衣等の保管量推移



※1 瓦礫類・伐採木の保管容量は、実施計画(2015年7月17日認可)の保管容量を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の2016年度末の保管量(想定)は、2015年7月の予測値。